

作品番号010-1

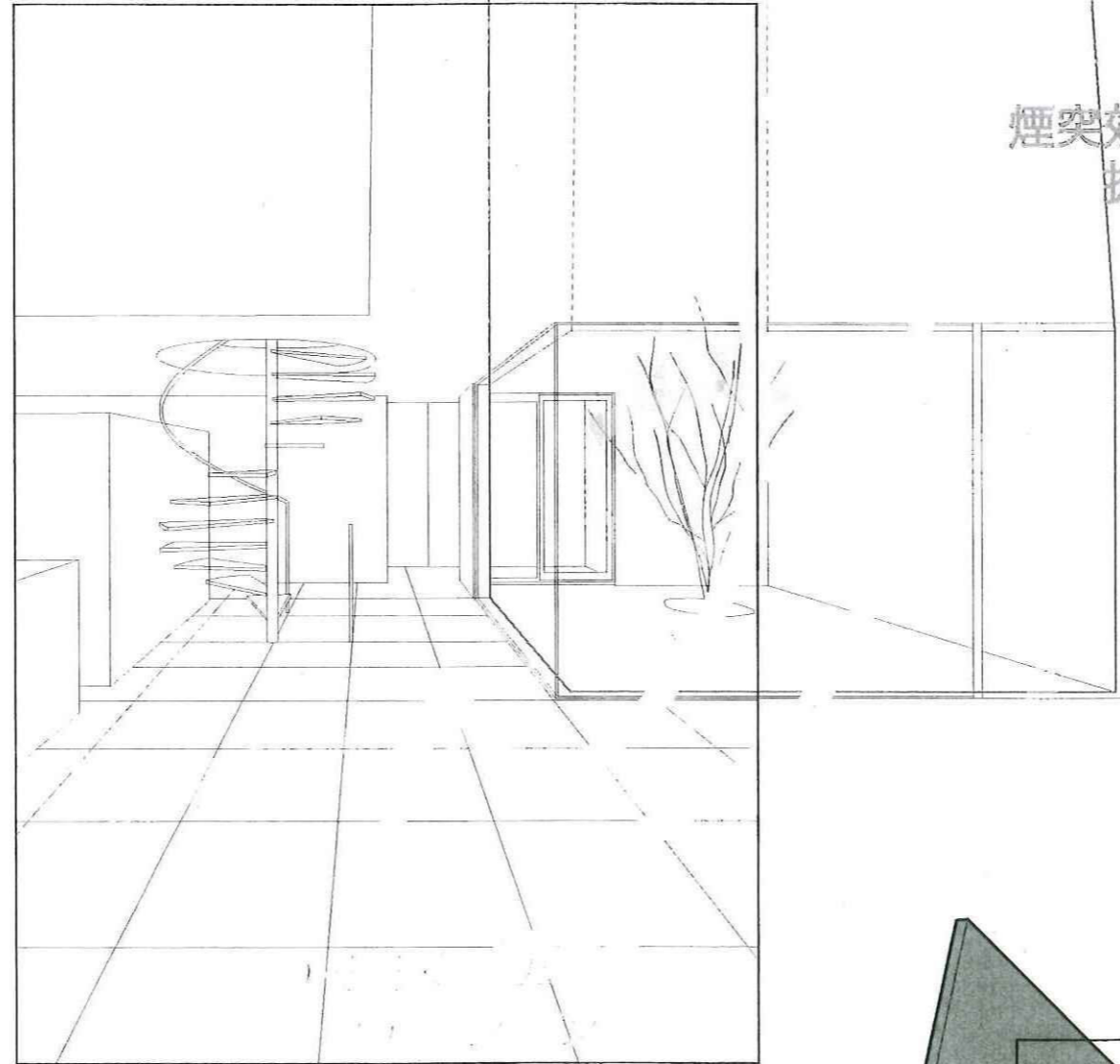
< 設計概要 >

京都御所近くの静かな住宅街。その中の路地を奥へ進んだところにこの住宅はある。密集したこの地に建つこの住居は、周囲の密度感とは対照的に、外部に対して閉ざし中庭に開いた構成をとっている。このヴォイド＝中庭を通して導かれる光は、適度なあかるさで、時に赤い壁の反射光が庭の樹木に色を滲ませ、内部空間に変化をもたらしてくれる要素となる。外壁は断熱性を高め、冷暖房負荷の軽減をはかり、開口部の位置は換気効率の良い場所に配置している。また、中庭に面した1階のリビングは、スライディングドアにより2分割でき、夏と冬に備えている。

2階の中央に背骨状のHP曲面の赤い壁を渡してトラス梁の性能をもたせ、下階に7m×8mという木造の住宅にしては大きな空間を柱なしで実現している。

2階の個室にはそれぞれテラスがあり、採光を確保すると同時に、床をファイバーグレーチングとし、通風を確保する工夫を凝らしている。また、2階から斜め下を覗くことができ、向かいや隣の家の視線を気にする必要のない、視野の抜け道となっている。

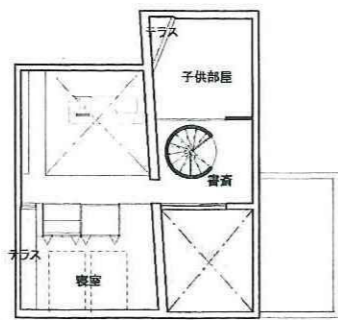
主な用途： 一戸建住宅
敷地面積： 127.07 m²
建築面積： 69.11 m²
延床面積： 100.78 m²



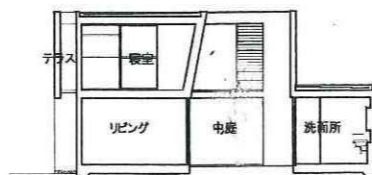
煙突効果で
抜ける風



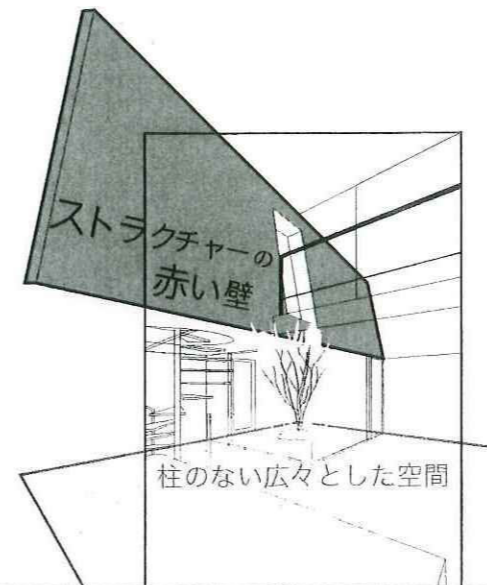
1階平面図 1:250



2階平面図



東西方向断面図



ストラクチャーの
赤い壁

柱のない広々とした空間

